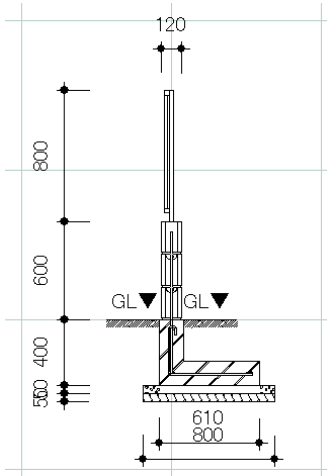
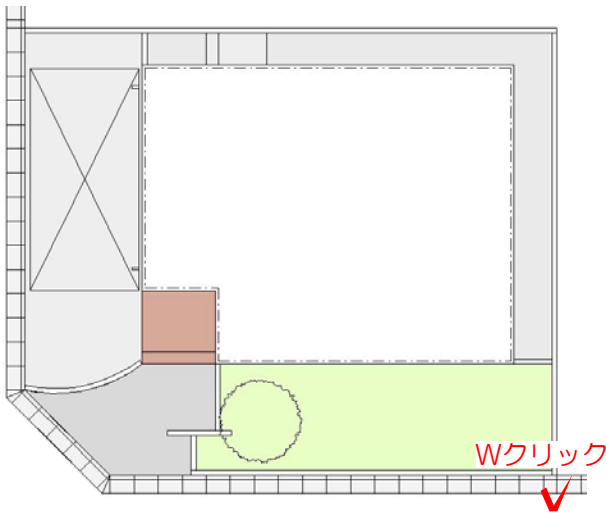


塀デザイナー 断面図作成機能

オーセブンCAD11以降の機能です。

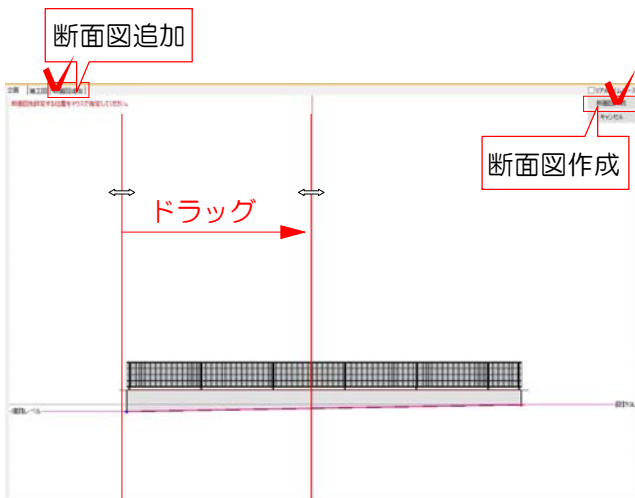


塀デザイナーの中で断面図を作成する機能です。



1 塀デザイナーの起動

1-1：塀をWクリックで起動します。



1-2：画面左上の断面図追加を選択します
塀の左端に赤い線が表示されます。マウスを近づけカーソルが ⇄マークになったら、断面図を作成したい位置までドラッグで移動します。

※キャンセルを選択すると断面図設定が終了します。

※オーセブンCAD11以降のツールになります。

2-1 設定箇所：

どの部分を設定しているかが表示されます

2 設定画面説明

設定画面の概要を説明します。

2-2 設定画面：
設定箇所に応じて項目が変わり、数値入力等で図形の調整が出来ます。

2-3 断面図プレビュー：
右下にあるOKボタンを押した時にこの状態で断面図が作成できます。現在設定中の箇所は赤枠で囲われます。

2-4 設定箇所切り替え：
ブロック→基礎→地盤→笠木・フェリス→GL・境界線の順に設定を切り替えることが出来ます。

2-5 図形設定：
図形の反転やタブの切り替えを行います。

2-6 OK キャンセルボタン：
OKを押せば断面図を作成し、キャンセルを押せば断面図は作成せずにeFormerに戻ります。

2-7 スタンプパレット：2-3で選択している箇所のブロックの種類や基礎形状等を変更する時に使います。ドラッグして2-3の画面に図形を持って行くと、図形を変更することが出来ます。

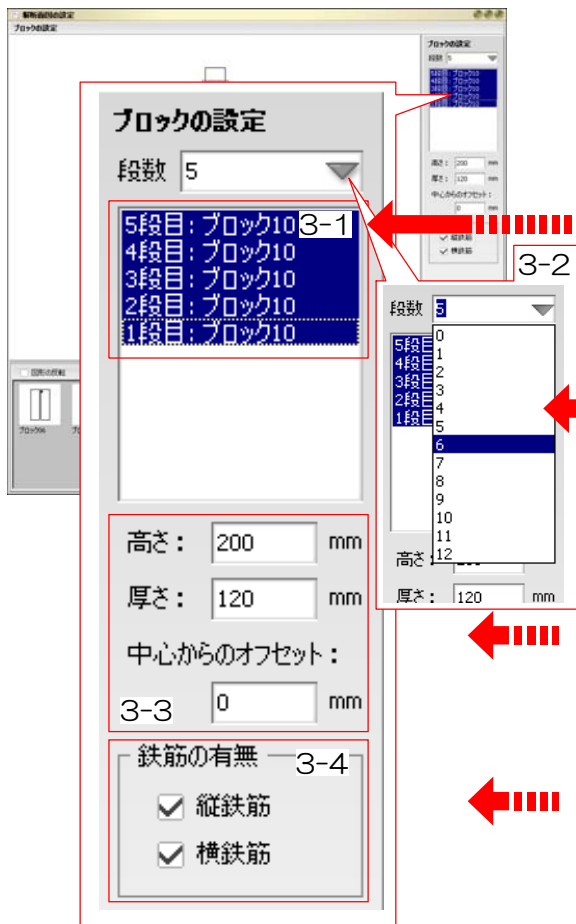


各機能の詳しい操作説明は次ページから始まります。



【部分的に図形を変更したい場合】

2-2で選択されている箇所が変更の対象になっています。仮にブロックの段全てが選択されていたら全ての段が一度に変更できます。個別に変更したい場合は2-2で1段だけをクリックして選択して下さい。



3 ブロック設定

3-1：変更段設定

ブロックを1段ずつ変更するのか、全部を一度に変更するのか等を設定します。ここで選択されている段を下記の項目で変更できます。

3-2：ブロックの段数の設定

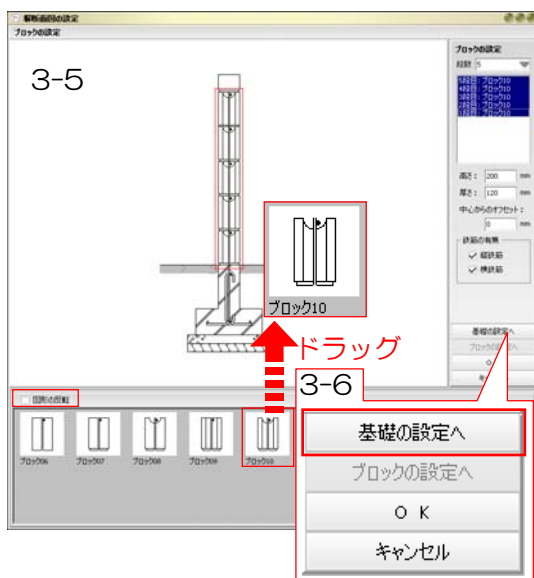
ブロックの段数を変えたい時に変更します。左図のようにプルダウンの中から段数を選んでクリックします。

3-3：ブロックサイズの設定

厚み高さ等サイズを変更したい時に使います。「中心からのオフセット」は、基礎に対して外面に合わせる等の設定に使います。

3-4：鉄筋の設定

鉄筋を表記するかないかを設定します。チェックが入っていると鉄骨が表示されます。



3-5：ブロック表記設定

ブロックの形(模様等)を変更することが出来ます。スタンプパレットからプレビュー画面に図形をドラッグすると3-1で選択されている箇所のブロックが入れ替わります。「図形を反転する」にチェックが入っているとドラッグをする図形が反転します。

3-6：次の設定をする

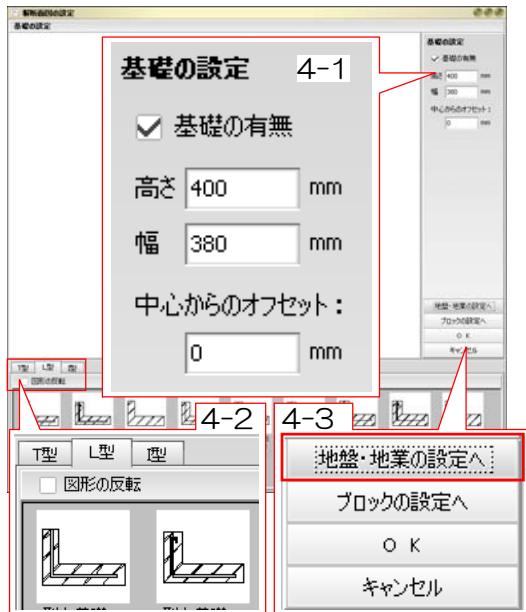
ブロックの設定が終わったら「基礎の設定へ」をクリックして基礎設定をします。

【変更したいブロックが変更できない場合】

パレットから図形をドラッグしたり、数値を入力しても図形が変更されない場合は、3-1を確認して下さい。3-1で変更したい図形が選択されていない場合は編集できませんので、数値入力等をする前に選択しておく必要があります。

(例)

5段積みの塀の一番上のブロックを他の段とは別のものに変えたい場合は、3-1で5段目をクリックして5段目だけが青くなった状態にしてから数値入力等を行います。



4 基礎設定

4-1：位置・サイズ設定

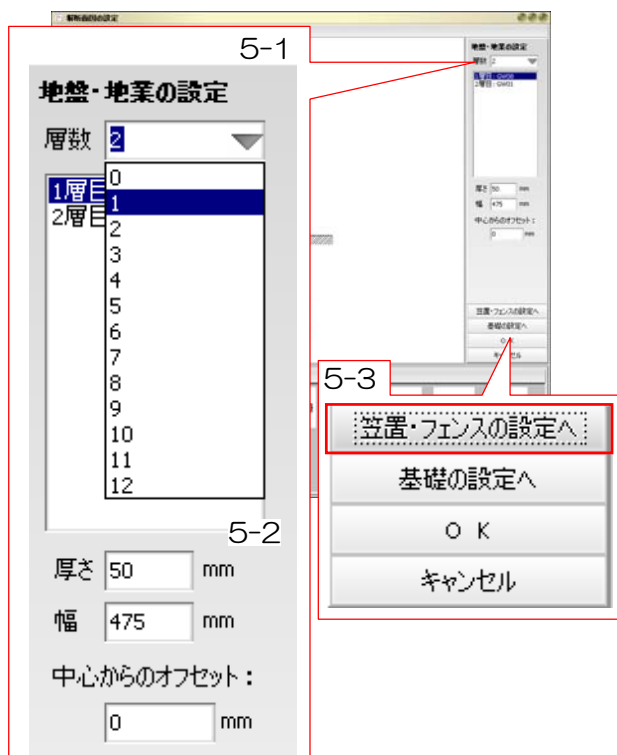
「基礎の有無」のチェックを外すと基礎を表示させないことができます。「高さ」と「幅」で全体のサイズを調整できます。「中心からのオフセット」で左右に動かす事が出来ます。

4-2：基礎形状の設定

T型・L型・I型をそれぞれのタブをクリックすることで基礎の種類を切り替えます。図形の反転にチェックを入れておくと、パレットから図形をドラッグした場合に基礎を反転させることができます。

4-3:次の設定をする

基礎の設定が終わったら「地盤・地業の設定へ」をクリックして地盤・地業の設定をします。



5 地盤・地業設定

5-1：層数設定

「層数」のプルダウンで何層まで表示させるかを設定できます。

5-2：図形サイズ・位置設定

「高さ」と「幅」でサイズを調整できます。「中心からのオフセット」で左右に動かす事が出来ます。

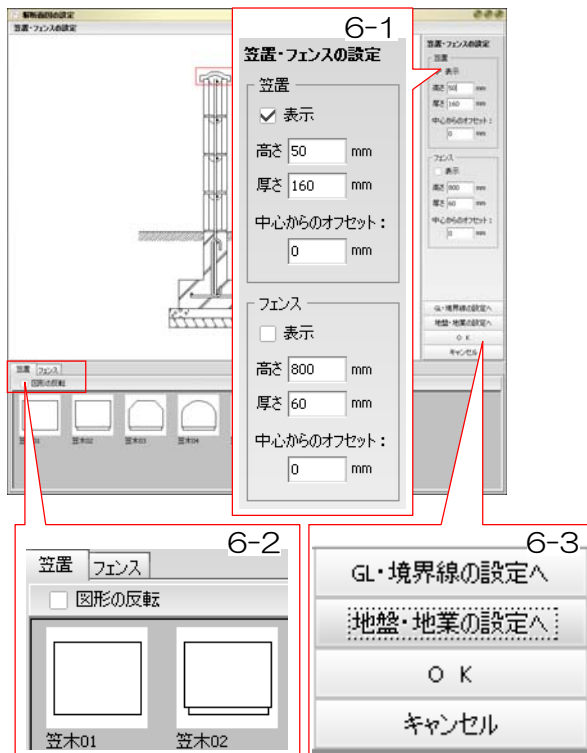
5-3：次の設定をする

地盤・地業の設定が終わったら「笠置・フェンスの設定へ」をクリックして笠置・フェンスの設定をします。



【既に画面に見えている形で大丈夫な時】

プレビュー画面で見えている断面図の状態を出したい場合は、各設定に移るのではなく「OK」ボタンをクリックすればeE-Former上に設定した断面図形が作成されます。



6 笠木・フェンス設定

6-1：笠置・フェンス設定

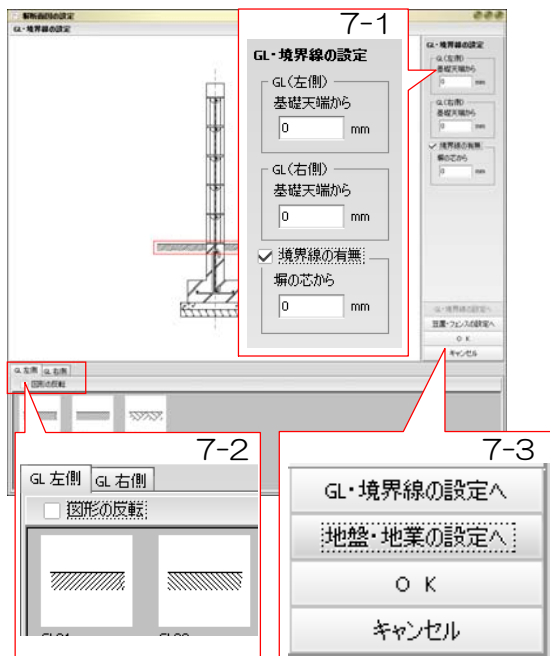
「表示」のチェックが入っているとそれぞれの図形が表示されます。「高さ」と「厚さ」で全体のサイズを調整できます。「中心からのオフセット」で左右に動かす事が出来ます。

6-2：笠置・フェンス形状の設定

それぞれのタブをクリックすることで笠置とフェンスの表示を切り替えます。パレットからプレビュー画面へ図形をドラッグすると形状の変更が出来ます。図形の反転にチェックを入れておくと、パレットから図形をドラッグした場合に図形を反転させることが出来ます。

6-3：次の設定をする

笠置・フェンスの設定が終わったら「GL・境界線の設定へ」をクリックしてGL・境界線の設定をします。



7 GL・境界線設定

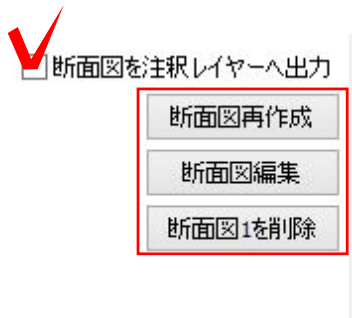
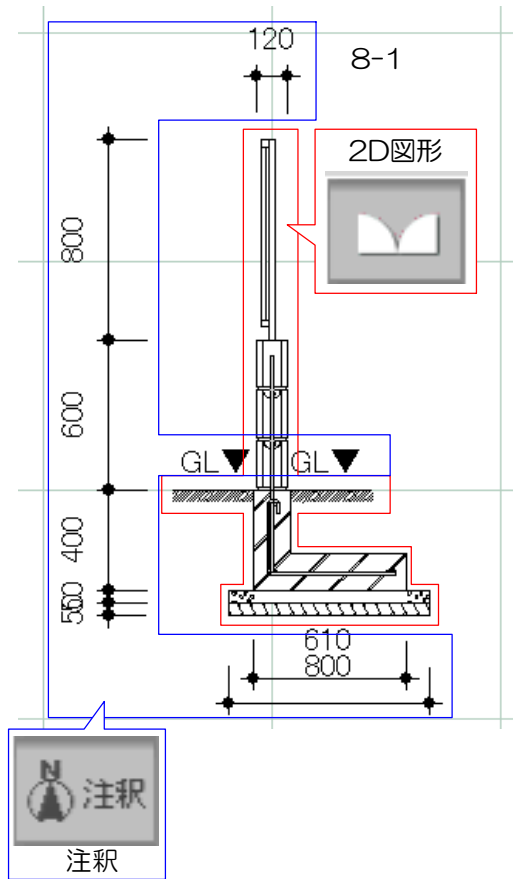
7-1：GL・境界線設定

基礎天端からどの位置に地面があるのかを設定します。「境界線の有無」にチェックが入っていると隣地境界の縦ラインが入ります。「塀の芯から」のこうもくに数値を入力して位置をずらします。

7-2：GLライン形状の設定

タブをクリックすることで変更対象を切り替えられます。パレットからプレビュー画面へ図形をドラッグすると形状の変更が出来ます。図形の反転にチェックを入れておくと、パレットから図形をドラッグした場合に図形を反転させることが出来ます。

7-3：設定をし終わったらOKボタンをクリックします。図形がeE-Former上に作成されます。



8 eE-Former上での編集

8-1：eE-Former上に作成された図形の状態
図形は2D図形レイヤの図形に。寸法線等は注釈のレイヤの図形になっています。
CADと同じ様にレイヤが違っていると図形の編集が出来ませんので注意しましょう。

8-2：図形の編集

図形は作成された直後はグループ(一つのまとまり)になっています。選択してオブジェクトメニューから「グループ解除」を選び、図形を個別に編集が出来るようにします。ダブルクリックで編集が出来ます。

グループ解除直後は、グループ化されていた図形が全て選択されている状態になっています。特定の図形を削除したい時などは何も無いところをクリックして、一旦選択を解除しておきます。



eE-Formerでの図形編集に関しては、
を参照してください。

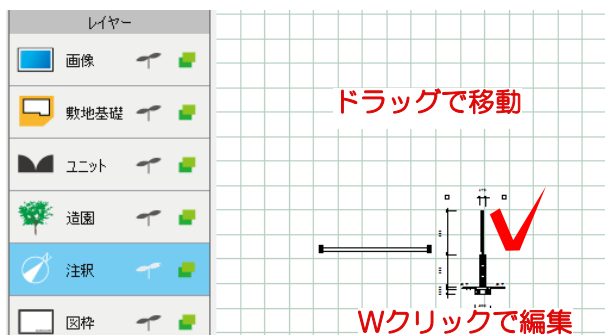
8-3：画面右上の断面図を注釈レイヤへ出力にチェックを入れて、OKを選択すると注釈レイヤに配置されます。

※作成した断面図を編集したい場合は断面図編集を選択します。
削除したい場合は断面図を削除を選択します

9 塀の断面図の編集



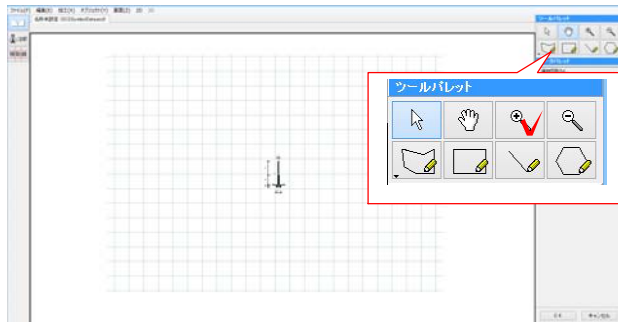
レイヤは「注釈」




9-1 レイヤは注釈にします。

9-2 断面図の位置はドラッグで移動することが出来ます。

9-3 編集する時はWクリックでeE-Formerを起動します。

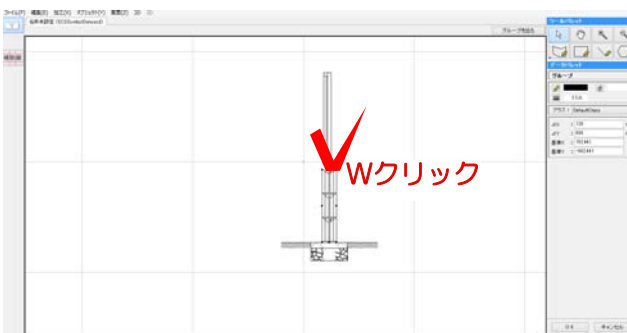


9-4 eE-Formerが起動します。
ツールパレットの拡大ツールで見やすい大きさに拡大しましょう。

作業が終わったらカーソルは  に戻します。

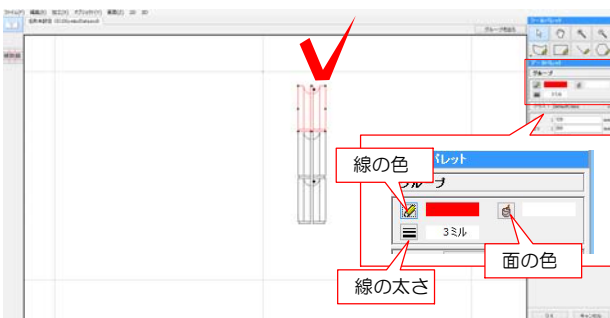


9-5 編集したい線を図形・線を選択します
グループ化されているので図形をWクリックしてグループの中に入ります。



9-6 フェンス、ブロック、地盤。地面に分かれました。さらに細かく選択したい場合はWクリックでグループの中に入ります。

またはオブジェクトメニューのグループ解除をクリックします。

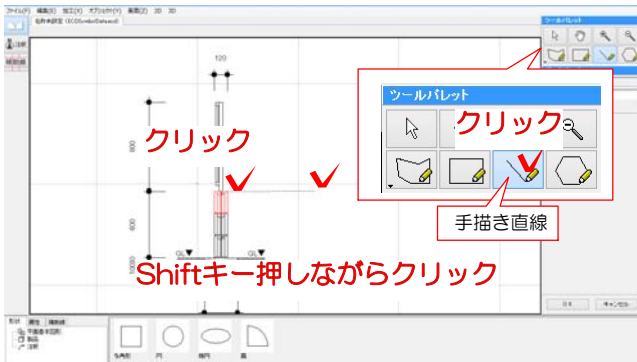


9-7 図形・または線をクリックで選択し、データパレットで線の色や太さを変更することが出来ます。

BackspaceキーまたはDeletキーで削除が出来ます。

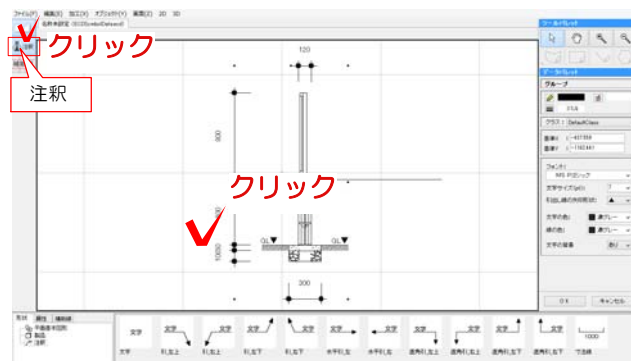


9-8 作業が終わったら画面右上の「グループを出す」をクリックして元の画面に戻りましょう

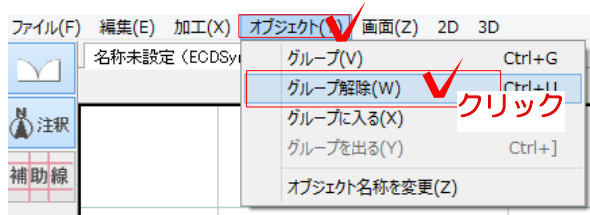


9-9 線を描き加える時は、ツールパレットで手書き直線などツールを選択します。

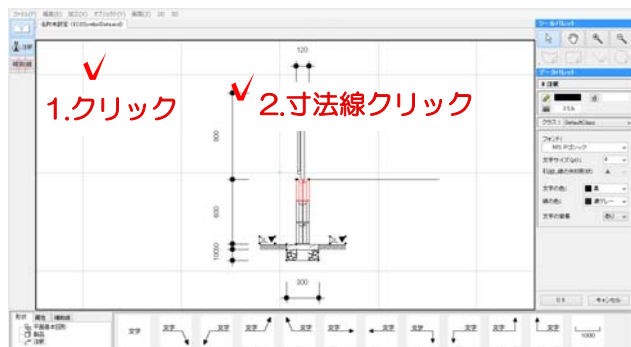
9-10 線を描きたい箇所をクリックします shiftキーを押しながら線を伸ばし、クリックで終了すると直線を描くことができます。



9-11 寸法線、数字を変更する場合は画面左の注釈をクリックします。

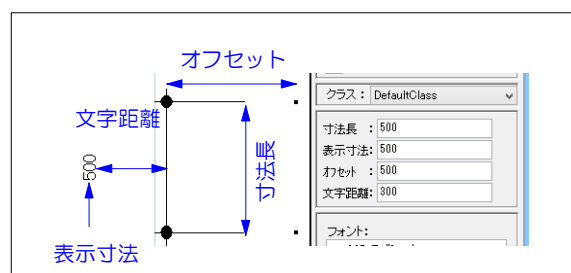
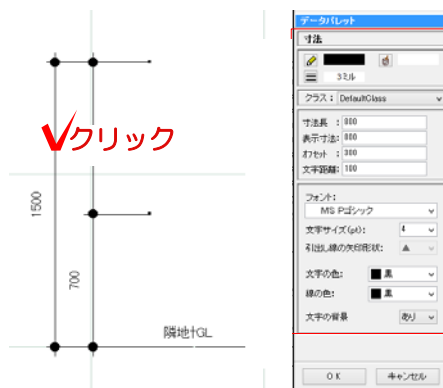


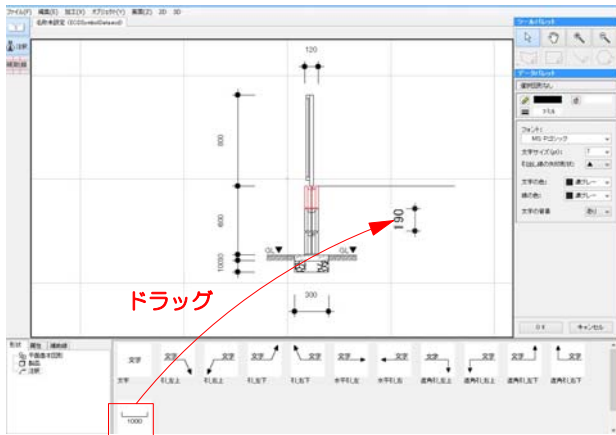
9-12 寸法線、数字をクリックで選択します。寸法線はグループ化されている為、オブジェクトメニューのグループ解除をクリックします。



9-13 何も無いところをクリックして選択を解除します。編集したい寸法線をクリックで選択します。

9-14 寸法線をクリックで選択するとデータパレットに数値が表示されます。数値やフォントを変更することができます。





9-15 注釈や寸法線などを追加したい時は下のスタンプから選び、ドラッグで配置・移動します。

10 断面図の縮尺

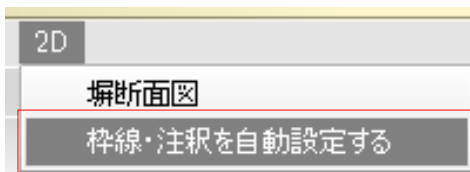
10-1



10-1：断面図の縮尺の調整

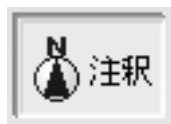
断面図の縮尺を変更する場合はCADと同じくファイルメニューから『用紙の大きさ』を選んで変更します。

10-2

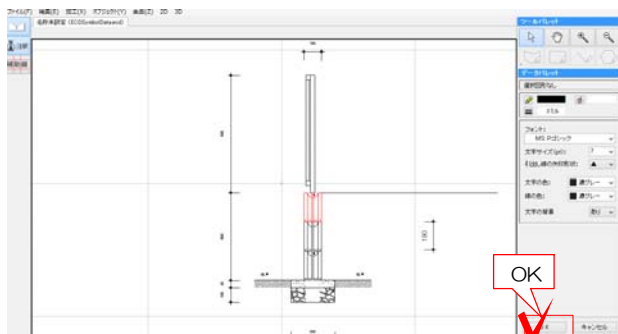


10-2：縮尺の表記

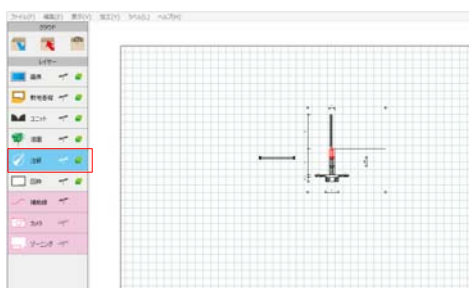
2Dメニューから『枠線・注釈を自動設定する』を選択するとその時の縮尺がeE-Formerの注釈レイヤに作成されます。同時に断面図の枠が作成されます。



断面図が作成できたら、OKボタンをクリックしてCADに戻ります。注釈レイヤに断面図が作成されます。



10-3 編集が終わったら「OK」をクリックしてeE-Formerを終了します。



10-4 注釈レイヤに編集した断面図が配置されます。